



10月号

麻布幼稚園だより

令和2年9月30日
港区立麻布幼稚園
園長 藤田 智子

『充実の秋』

爽やかな秋風を感じながら、体を思い切り動かして活動する楽しさを感じることでできる季節になりました。今、それぞれの学級では、10月に行うスポーツデーに向けて、子どもたちのやってみよう！楽しい！の気持ちを引き出す工夫をしながら活動に取り組んでいます。今年度は、感染症対策のため、昨年までの運動会と同じ方法では行えませんが、学年ごとに時間枠を設け、入れ替え制で『スポーツデー』を実施します。集まる人数を少なくし短時間でいきますが、極力内容は減らさずに幼児の経験を充実させたいと考えています。当日は他学年の競技を見ることはできませんが、前日までに幼児だけで見合い応援し合う経験をし、その経験を遊びや次年度の行事につなげていけるようにします。

10月からは、年少、年中組も通常通りの教育時間となります。保育時間が長くなり、幼稚園での生活も充実の時期を迎えます。

9月から開始した弁当については、学級ごとに隔日の弁当経験をしたことで、手を洗った後の動き、マスクの着脱のタイミングなど、昼食時の動きがわかるようになりました。年中組、年長組の子どもたちは、昨年までに身に付けた昼食時の動きに新たな動きが加わったことで、初めは戸惑う様子も見られましたが、集団生活における感染症対策を踏まえた食事の仕方に少しずつ慣れてきました。

年少組の子どもたちは、初めて幼稚園で食べる弁当を楽しみしながら、昼食時に必要な動きを身に付けているところです。短時間で食べることでできる弁当の準備やマスク入れやお手拭きの準備のご協力をありがとうございます。引き続きよろしくをお願いします。

さて、先日、年長組の子どもたちを対象に、生け花の会を実施しました。日本の伝統文化に触れる機会の一つとすること、表現の楽しさを感じながら表現の幅を広げていくこと、自然への関心を高めることをねらいとして行いました。第1回目である今回、子どもたちは生け花の基本を知る経験をしました。ススキ、センニチコウ、ユーカリ、アカナスの4種類を生けましたが、花材の紹介時には、「お花屋さんで見たことがある」「家にも咲いているよ」「公園にいっぱいあった！」「今度探してみよう」などの声があり、身近な自然物への興味や関心にもつながる様子が見られました。

幼稚園における教育について示した『幼稚園教育要領』には、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して豊かな感性や表現する力を養い創造性を豊かにする『表現』という領域があります。表現の領域は、「いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ」「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」「生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ」ことをねらいとしています。いろいろな表現活動を経験する中で、自分なりに表現する喜びや楽しさを感じられるようにしていきたいと思えます。今回は全員が同じ種類の花材で生け花体験をしましたが、出来上がった作品は、それぞれに異なり、それぞれに良さを感じる素敵な作品となりました。持ち帰った作品はご家庭で楽しんでいただけたことと思います。好評につき、10月には年中組対象に実施いたします。

2学期は教育活動が充実し、子どもたちが大きく成長する時期です。『充実の秋』となるよう、子どもたちの成長を楽しみに、教育活動を進めてまいります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

